



ゆくて遥かに

令和2年12月7日(月)

第136号

長野県松本深志高等学校長

終始業式 (11月30日)

二学期の終業式と三学期の始業式を兼ねた終始業式を、11月の最終日のSHRに行いました。コロナ対策、特に3年生が受験を控えた大事な時期でもありますので、放送を利用しての実施です。私からは、「今、世の中は混沌としていて、新型コロナウイルスに限らず、先行き不透明な課題が次々に発生している。こうした未来が予測できない時代を生きていくには、そして難解な課題を解決していくには、自分の頭で、あるいは、自分の言葉で、考え続けることがとても大事。先行き不透明でグローバルなつながりのある時代を生きていくには、どのような力が必要になると世界では考えられているか。ここに一つ、大変唆に富む考えがある。国際バカロレア (IB: International Baccalaureate) の目指す学習者像、『IB learner profile』。IBの理念は、『多文化に対する理解と尊敬を通じて、平和でより良い世界の実現のために貢献する、探究心、知識、そして思いやりのある若者の育成を目指す』と定められている。そして、その目的を実現するために、どんな人間であってほしいかを示しているのがIBの『目指す学習者像』。十か条ある。① inquires 探究する人 ② knowledgeable 知識のある人 ③ thinkers 考える人 ④ communicators コミュニケーションができる人 ⑤ principled 信念を持つ人 ⑥ open-minded 心を開く人 ⑦ caring 思いやりのある人 ⑧ risk-takers 挑戦する人 (リスクのとれる人) ⑨ balanced バランスのとれた人 ⑩ reflective 振り返りができる人。深志生の強み、深志生の良さは何かと考えたとき、この十か条に関連すると、まず考える人。そして探求する人。こうした力は皆さん持っている。皆さんと話をしたり、授業を見させてもらったりして、独創的なところ、自分の言葉を持っていること、自分で考えようとしていること、これは本当に素晴らしいと感じているし、そうした独創力が、先行き不透明な混とんとした時代を間違いなく切り開いていくと思う。それでは深志生にさらに伸ばしてもらいたいところは何か。一つはリスクを取ってみること、言い換えればチャレンジすること。これは大事なことだけど、なかなか難しい。なんだかんだ理由をつけて、人はなかなかチャレンジできない。失敗を恐れずに何かをやってみようという気持ちを持ち続けてほしい。そして、もう一つ期待したいことは、思いやりのある人。自分のことだけでなく、人のため社会のためという意識をどこかで持つ。そのことは絶対に大事だと私は確信している。さて、今日からは3学期がスタート。二年生、一年生は、とにかく『慢心』をしないこと。部活動や生徒会活動が、勉強をしない言い訳になってはいけない。あくまでも学業あつての高校生活。『切り替え』と『集中』を行いながら、時間をうまくつかっていくこと、タイムマネジメントの力をしっかりと培い、発揮



トランプの

絵札のように集めて
我ら画面に密を築は
(僕万智 神の物語)



してほしい。そして三年生はいよいよ受験に突入する。一人一人の積み重ね、一つの積み重ねの総和としての深志の底力を是非見せてほしい。最後の最後まで絶対にあきらめない、自分の伸び代を信じて、強い気持ちでしっかりと頑張りぬく。コロナ感染症対策と体調の自己管理を抜かりなく行いながら、すべての皆さんにとって充実した三学期になることを期待している」というような話をしました。

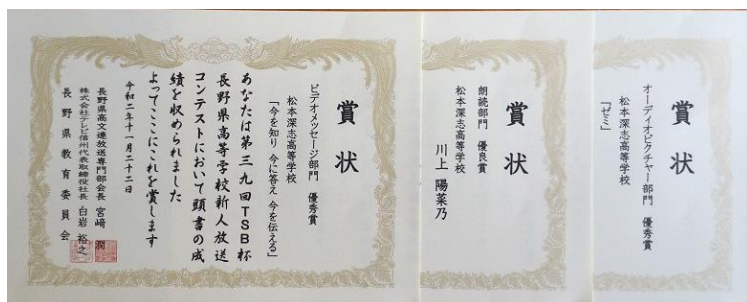
第四回信大連携ゼミ（11月28日）

21日に引き続いて、一年生の信大連携ゼミです。今回も「松本の地質環境と自然災害」ゼミは現地調査に出かけました。「グローバル」ゼミでは、ブラジル、マレーシア、タイからの3名の留学生を迎えての交流会。15人の生徒が三グループに分かれて、それぞれに留学生が加わり、英語や日本語で自己紹介やディスカッション等を行っていました。「地域・社会と問題解決」ゼミでは、校内の身近な問題を、お金をかけずに行動や考え方を変えることで解決できないか、を探る具体的な活動を、「ミライノカガク」ゼミは様々な曲線の特徴を、実験を交えて考察していました。他のゼミも最終回に向けてプレゼンの準備が加速。残すはあと一回です。



放送委員会制作班全国大会へ（11月22日）

11月22日に行われた「第39回TSB杯長野県高校新人放送コンテスト」のビデオメッセージ部門で、本校の「今を知り 今に答え 今を伝える」が優秀賞を獲得し、北信越大会と来年度の全国高等学校総合文化祭への出場を決めました。また、朗読部門で2年の川上さんが優秀賞に選ばれ、北信越大会へ出場します。



その他の話題をいくつか

★ 世界で活躍できる科学技術人材を育成するために、県教委が実力養成講座を実施しています。その名も「科学オリンピック養成講座」。年4回の実施ですが、第3回の「室内での岩石・薄片観察と野外での地層観察」が11月21日に行われ、地学班の5名が参加しました。参加者は全7名だったそうで、本校で支えられている講座となりました。



★ 27日に全国出場の吹部と英研に同窓会激励金(+寸志)を渡しました。

今週の予定（1・2年通常、3年前期特編、信大連携ゼミ、クリスマスコンサート）

日	曜日	行事等	その他(主に校長動向)
7	月	学年会 クリコン (ダブルダッチ部)	中信地区校長会
8	火	職員胃検診 クリコン (音楽部)	
9	水	午後特曜授業 クリコン (アコギ部)	
10	木	進路講演会 (2年) モップ交換	高校教育課用務
11	金	クリコン (演劇部)	
12	土	信大連携ゼミ (1年)	
13	日		
14	月	学年会 クリコン (軽音部)	